

京都教区時報

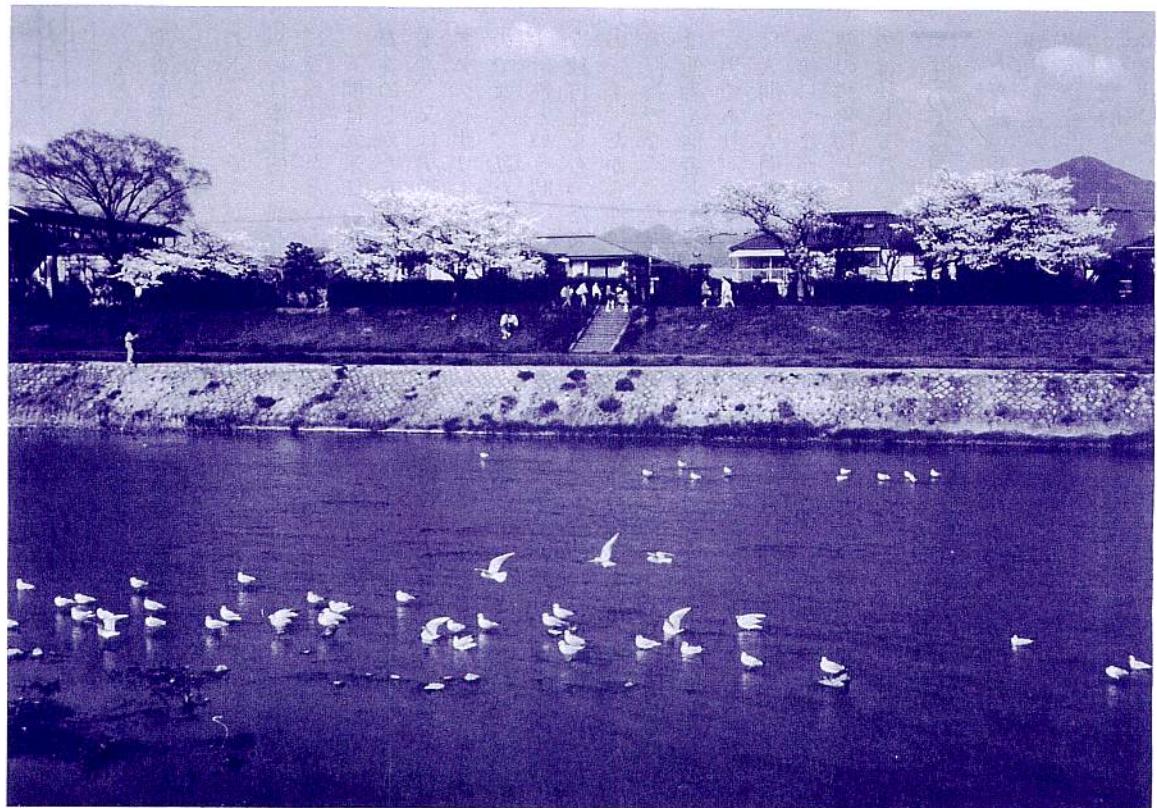
第186号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F



春 加茂川
花咲き ゆりかもめ舞う
小さき子の姿見ゆるか
天下に子等をうつくしむ

春 いのち めばえ
主の復活を祝う

冬去らば 春来るらし
これ自然のならい?

いやならぬ
これ四季ある所

世界 我ならず
我が生くる所 世界ならず

桜花散る あわれにうつくし
一粒の麦死す 花実りあり

人は生れ 人は死ぬ
これ あわれに うつくし

人は死に 人生る
これ あわれにたのし

主の死と復活を觀う
人の命と死を想う

家庭と性

ノートルダム教育修道女会
石崎 保子

性に関する視点

性について語る時思うのは、この主題が取り上げられること自体、教会の中では少なかったように思います。特に一般の信徒の立場からは、性はむしろ隠されるべきもの、どちらかといえば欲望とつながる悪として捉えられることが多いのです。性はむしろ隠されべきもの、どちらかといえば欲望とつながる悪として捉えられることが多いのです。

性について語る時思うのは、この主題が取り上げられること自体、教会の中では少なかったように思います。特に一般の信徒の立場からは、性はむしろ隠されるべきもの、どちらかといえば欲望とつながる悪として捉えられることが多いのです。性はむしろ隠されべきもの、どちらかといえば欲望とつながる悪として捉えられることが多いのです。

性について語る時思うのは、この主題が取り上げられること自体、教会の中では少なかったように思います。特に一般の信徒の立場からは、性はむしろ隠されるべきもの、どちらかといえば欲望とつながる悪として捉えられることが多いのです。性はむしろ隠されべきもの、どちらかといえば欲望とつながる悪として捉えられることが多いのです。

本性としての性(男と女)

当然のことですが家庭は結婚で成立する側面をもち、その結婚は男

と女という違った本性をもつ者が聖書的表現をすれば「二人一体」となることです。この一致は結婚のポイントですが、忘れてならないのは本性的に異なる人間が一つになることだということです。

人間は元来この本性的に異なる存在のしかたをするもので、私が女性、又は男性であることは決してアクセサリーのような附属物なのでなく、私たち自身そのものです。性という時、この私自身という独自性をもつた人間から始まるのです。だから性は欲望の固まりの怪物ではなく、私を私とする(あるいは他者を他者とする)特質です。

男であり、女であるという事実は人間を人間として認めることが密接につながるものであつて、欲望の対象物として見るに止るものではありません。性は身体性を否定するのではなく、人間が愛し合うとき体

でも現実に性は非常に重要な、人間の一つの要素であり、地下水脈などながら生活の見えぬ部分で息づいていますし、聖書の中でも性は良きにつけ悪しきをつけ、人間を生きる姿を示しています。

性の本質(体と心)

時代も含め)人間の社会は欲望の人間的なようでいて最も非人間的な扱いをしたといえます。人間

から性だけを浮き上らせてしまいました。例えば女性が性欲の対象となることが最も多いのですが、

そこでは人間の尊重や愛はぬきになってしまいます。旧約聖書の物語にもよくみられます。女性が

したたげられる立場となる時、この形をとることが殆どでした。

現代でも形をえて温存されています。性の表現の自由とは女性が商品としてさらざれるに過ぎぬことであつたり、性の自由といふことがあります。性の表現の自由とは女性

が商品としてさらざれるに過ぎぬことであつたり、性の自由といふことがあります。性の表現の自由とは女性

が商品としてさらざれるに過ぎぬことであつたり、性の自由といふことがあります。性の表現の自由とは女性

家庭と性(自己と他者像)

結婚はこの性と愛の関係を社会的に是認し、その紹介の形成で家庭

という共同体を築きます。夫婦はその核です。親子関係をも協働して育てるに同時に、各々の性役割をもつ親となります。父又は母と

に愛される体験を通じ、同性又は異性のあり方を受容する際の生き証人です。子は時に親に抵抗しつつもそれで自己を形成し、自分の女性像又は男性像を創っていく

のです。性はまさに自己のアイデンティティの源であり同時に、他人者の存在を認識する基本なのです。子どもは具体的な人間関係の輪、家庭から発する輪のひろがりの中で、自分の人間性として成長させて行くのです。ですから夫婦がお互いを人間として大切にする中で愛しあい、二人一体で生きることは、性を本来の姿で、しかも聖書的に生きることなのです。

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀
貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
(075)312-7829

NICEへの歩み

—第2回奈良県力トリック大会

を振り返つて—

■奈良ブロックでは

平成4年11月22日(日)午後1時

から、高の原カトリック野外礼拝センターにおいて、第2回奈良県カトリック大会が奈良県司牧評議会(会長・オヘール神父)と奈良県信徒協議会(会長・芦田一彦)の共催により、県下八教会の司祭、修道女、信徒など約二百名が集まり「家庭の現実から福音宣教のあり方を探そう」とのテーマで開かれました。

第1回大会は「開かれた教会づくり」という言葉だけが一人歩きしていた'91年秋(NICE

2のテーマが家庭と決まつたもののNICEと家庭との関わりが理解できずにいた頃)講師に小田武彦神父をお迎えして「イエズス様が大切になさった生き方とは?」「なぜNICEなのか」

■ありのままの現実から

さて、第2回大会の講師は、大阪教区の松浦悟郎神父様で、テマは「現代社会における家庭」でした。講話の内容は、(一)「家庭

をNICEの流れの中で捉えることの大切さ。(二)単に分かち合いと

そのあと、質疑に立たれた神父様は、問題の共感と共有を通して

「なぜ今、家庭なのか」について話していただき、「どうやら私達の進むべき方向がみえてきました。これを機会に小教区で話し合つた結果、冒頭の第2回大会に向け次の項目をもとに奈良ブロックでは、さらに分かち合いを進めていくことになりました。

①子供の教育離れ ②近所づき合い ③離婚者の教会離れ ④カトリック的な家庭生活の実践 ⑤片親信者の家庭 ⑥家庭経済 ⑦家庭教会(家庭を聖化する子供の意見を聞く教会)

解決の場としない。
と具体的に、わかり易く話されました。一例として、映画「赤ひげ」に登場する佐八が、他人の子を産んで苦しむ女房おながが理由を話そうとした時「お前がつらくなかったら」と彼女をいたわる姿。

又、自分にはおよそ納得いかなかつたであろう理由にもかかわらず、おなかの身になつたとき「わかるよ、わかるよ」と涙する佐八の中にキリストの罪人である人間に对する関わりの姿をかい間見る。この心を心とすべきではないかと論されました。

一步一步、しつかりと歩んできた」と決意しました。

(文責 斎藤茂行)

いう形式ではなく、真に分かち合える共同体をつくるために何が大切なことについて、特に、分かち合うことについては、NICEの根本である「あるべき姿からではなく、ありのままの現実から出発する」という意味で、

1、家庭生活や教会、社会の中で味わう喜びや苦しみ、悩みを、まず受けとめ合うこと(共感)。

待望のごミサでは、松浦神父様を中心に奈良県の司祭と参加者全員がご聖体を囲んで輪になり、心を合わせて主を讃え、喜びを分かち合い、感謝のうちに午後4時半大会を終えることができました。

■共に歩みたい

私達は、再び新しいスタート

台に立つた気持ちです。どうしでも通らなければならぬ遥かに遠い道ですが、生き生きとした情熱を持ってキリストと共にいる毎日の生活の中で時代に合つた「新しい感覚」と「新しい方法」を模索しつつ、あせらず一步一步、しつかりと歩んでいきたいと決意しました。



15周年を迎えたときわハウス



15周年を迎えたときわハウス
去る二月十五日に、四日市にある働く青少年の家「ときわハウス」が設立十五周年を迎えた。

一九七八年に、当時の知恵遅れの子供の施設「聖母の家」の園長だったメリノール会のザーン神父は、元のメリノールシスターの修道院であった家で、施設の養護学校を卒業した八名の男子の在園児のために別棟の寮を設立した。

いつも子供の社会復帰をめざしていたザーン師は養護学校を卒業した能力の高い男の子のために施設での仕事を見付けた。でも、

自分と貰いと八名の少年のための、夢であった働く男子の寮がやっと誕生した。ちょうど一九七八年二月十五日であった。

その時から、自分の家へ帰つたり、住み込みの仕事をもらつたりで、合計十二名の少年がときわハウスを通りすぎた。代わりに新しい子が入つたり出たりして、今日では五名がときわハウスで生活している。去る一月十五日に最後の子が成人式を迎えた。

十五年の間、ときわハウスで家庭的な生活をしてきた若い男の子は、社会性が大分あがってきて、今の五名は他の社会人と同じく毎日一生懸命に蒲鉾会社で勤務している。

ときわハウスの十五年の歴史を

施設の生活のスケジュールと職場のスケジュールが合わなかつたので、別寮が必要だと師は解ってきた。ちょうどその時、システムが使つていなかつた修道院を改造するためメリノール会のアメリカの本部から援助金を頂いたザーン師によつて

自分と貰いと八名の少年のための、夢であった働く男子の寮がやっと誕生した。ちょうど一九七八年二月十五日であった。

その時から、自分の家へ帰つたり、住み込みの仕事をもらつたりで、合計十二名の少年がときわハウスを通りすぎた。代わりに新しい子が入つたり出たりして、今日では五名がときわハウスで生活している。去る一月十五日に最後の子が成人式を迎えた。

振り返つてみてザーン師は神の御摂理を始め、数多くの方々の協力がなかつたら、ときわハウスを通じて社会に対して今プラスになつてゐることでなく、まだ社会の負担になつて、今でも収容施設の中で生活する青年たちになつてゐただろうと思っている。

聖堂全焼の報恩寺教会から

感謝！そして引続いてのご支援を――

昨年一月、不審火による火災のため、聖堂が全焼してからちょうど一年あまりになります。当初は信徒一同再建のめども立たず、途方に暮れておりましたが、近隣はもとより全国各地の信者の方々から暖かいご支援と祈りに励まされ、八〇戸あまりの信徒家庭がそれぞれ精一杯の額を拠出することとなりして、今日では五名がときわハウスで生活している。去る一月十五日に最後の子が成人式を迎えた。

十五年の間、ときわハウスで家庭的な生活をしてきた若い男の子は、社会性が大分あがってきて、今の五名は他の社会人と同じく毎日一生懸命に蒲鉾会社で勤務している。

ときわハウスの十五年の歴史を

新聖堂は、鉄骨平屋建て（一部二階）床面積三百四十平方メートル、総工費約五千万円で、今年三月完成をめざして、現在順調に工事が進んでおり、司教様をお迎えして献堂式は、五月二十三日に予定されています。

資金につきまして、建設費の他焼失した備品、祭服、祭具等の購入になお相当額が必要で、引き続き皆様のお祈りとご支援がいただければ幸いです。

（文責・再建委員会 芦田 昇）

◎ご送金は同封の郵便振替をご利用下さい。
郵便振替　□座番号　京都4-174881
加入者名　カトリック報恩寺教会
○銀行振込みでも結構です。
京都銀行 福知山支店 普通
福知山市大字報恩寺字中才1
カトリック報恩寺教会 マルセル・カリエ



寮生5人と
ボランティアの人たちとの
誕生日パーティ。

中高生のための一
日神学生入門

北村善朗神父

かねてから、京都教区に対しても中学生、高校生で司祭職を希望す

具体的には、土曜日午後五時に数人の子供たちが参加しています。

る子供たちへの配慮をという声があり、教区としまして、「一日神学生入門」という一泊のお泊り会を企画致しました。毎月の第四土日曜を使い、司祭職を望む子供、また考えてみたい子供たちを集め教会（主に桂教会）で司祭と生活を共にし、祈つたり、聖書を学ぶ機会としています。

先年の十月からはじまつたばかりの試みですが、現在の所二～三

主の召し出しを受け：

京都教区神学生 川村 显

私は、京都教区の皆様のお祈り

にうぶれで、月がかかる。京都
の京都教区神学生として、東京
カトリック神学院に入学させてい

幼児洗礼という賜物を頃きなが

私に限る三の間に心を閉ざしてきました。

その様な中で、出身教会（桃山教会）、教区、青年センター等で

そして、現在、主に導かれ、士
きなお恵みを頂き、喜びながら、
東京カトリック神学院に入学され
て頂く事に感謝しています。

これからも、主イエス・キリストを証しする為に、少しでも京都

「わたしについて来てなさい」
(マルコ1・17)

教団で奉仕させていただけれど思っています。

今後とも京都教区の皆様には、お世話になりますが、どうぞ宜しくお願ひします。

また、未熟な私の為にお祈り、励ましを頂ければ幸いです。

「わたしについて来なさい」
(マルコ1・17)

主イエス・キリストに従うものになれます様に……



ゆるしの秘跡に与かつたりします。次の日、七時頃に起床し、朝食後、朝の祈りを共唱し、九時からミサの中で侍者として奉仕します。何分、全くはじめての試みです。暗中模索の段階で、少しずつ充実した内容にしてゆきたいと思っております。若い中学生、高校生たちが司祭たちと生活を共にすることで、司祭としての生き方に触れます。機会となればと希望しています。

教区司祭の場合、現在の神学校の方針として二十一才以上でないと、志願できないことになつていてます。そこで教区としては、二十二

養成担当者と接触をもちながら、司祭職への召命を深めてゆきます。そして本人の意志が固まつた時点
で、教区から志願者として認定されます。皆さんの中で、もし少しでも司祭職を考えている人、また
どういう生き方か見てみたいと思つてゐる人があれば、是非この集
りに参加してみて下さい。

担当者は松本秀友神父、北村善
朗神父（桂教会 075-381-3268、西院
教会 075-841-1023）です。詳しい
日程等は各教会の案内をごらんに
なるか、担当者にお問い合わせ下さ
い。

1993年度/聖書使徒職講座

今年は、いよいよ第2回福音宣教推進全国会議(NICE-2)が長崎で行なわれます。テーマは「家庭」ですが、どうしても「家庭」というと、親子、兄弟、嫁姑といった家族関係だと考えられてしまいます。しかし、広い意味で「家庭」とは、教会、修道院、職場やサークルなども含めて、考えていくものであると思います。

また、家庭内の諸問題も、家族だけでなく、教会や友人などの協力や理解があつてこそ、乗り越えられるものではないでしょうか。

そこで、今年の聖書講座は「みことばに生きる共同体」とさせていただきました。
一人でも多くの方々の参加をお待ちしています。

スタッフ一同

- ◆対象 どなたでも
- ◆期間 1993年5月～10月の5ヵ月間（8月は休講）
 - 水曜日・夜コース……午後7:30～9:00
 - 木曜日・昼コース……午前10:00～11:30
- ◆場所 内容は同じです。どちらか都合のよいコースをお選び下さい。
- 西院カトリック会館1階（京都市中京区壬生淵田町26）
- ◆費用 5,000円 費用は当日受付で、お支払い下さい。
分納も可。
- ◆申込先 〒604 京都市中京区壬生淵田町26 西院カトリック会館内
カトリックきょうと福音センター内「聖書講座シリーズ」係
- ◆申込締切 4月28日(水)
- ◆問い合わせ カトリックきょうと福音センター内「聖書講座シリーズ」
担当者 柳本神父・又はSr.福島まで
☎ 075-822-7123 (10時～5時まで)
- ◆主催 京都教区聖書使徒職委員会

第二回ナイス代表者

ナイス準備委員会（柳本師）は
第2回ナイスの代表者を選出し、司教に上申した。
その結果、次の方々が任命された。（以下敬称及び靈名略）

信徒

藤村嘉彦（峰山）

下平義三郎（津）

柴田敦代（宇治）

岡村真喜子（草津）

池田誠（衣笠）

辻原誠次（JOC）

松井和泉（御所）

修道女 山田アイ子（ノートルダム）

司祭 氏家阪枝（W・ヨゼフ）

D・オヘール（奈良）

柳本昭（担当司祭）

代表者には、早急に代表者会議を開いていたたく事にし、3月31日と4月1日に合宿をする。その合宿に司牧評から奥本氏、前回の経験を考慮して村上（ト）が入る。

代表者は今後の対応の仕方を決める。

又準備委員会は代表者決定により、一応はその役割を果した事になるが、代表者の仕事が大変な事が予測されるので、支援体制をとのえておく意味で、解散は見合せる。代表者会の要請にいつでも応えられる体制を備えておく事が申し合わされた。

代表者選出については、例えば障害者の代表と言う事も考えたが限られた人数のわく内では無理なので、出来るだけ広範囲にわたる意見を集められる様、計画、配慮される事をお願いする事にした。

みなさんもこの方々を通して、意見がよりよく反映されていく様努力していただきたい。

尚代表者は各地区からの推せん者の中から選んだ。

（文責 村上）

教区スケジュール

25日(日)司祭叙階式

(河原町教会) 15時30分

4月

1日(木)聖香油ミサ

(河原町教会) 11時

2日(金)CBS宗教トレーニン

グキャンプ

3日(土)京都教区高校生春合宿

(野外礼拝セントター)

4日(日)結婚相談室開設

(河原町カトリック会館)

13時30分~15時

墓地委員会

8日(木)入学式

(河原町カトリック会館)

9日(金)信睦二金会(西陣教会)

(聖母学院中高等学校)

11日(日)子羊会例会(高野教会)

(聖マリア養護学校)

12日(月)入学式

(聖マリア養護学校)

15日(木)司教顧問会

(河原町カトリック会館)

月例会(河原町カトリック会館)

17日(土)部落問題委員会現地学習

(ダフィイ神父追悼ミサ)

(九条教会)

24日(木)中高生侍者默想会

(召命促進委員会主催)



お知らせ

●司祭叙階式の案内

福岡一穂助祭と、森田直樹助祭が、
4月25日(日)午後3時半より河原町
教会で司祭に叙階予定です。お二
人の召命のためにお祈り下さい。

●信徒使徒職養成コースの案内

第91回祈りのコースI
日時・5月21日(金)~23日(日)
場所・唐崎祈りの家●福音センターマーク
申込締切・4月30日 定員・15名
費用・17,000円●「一万匹の蟻運動」基金報告
累計 2,236,806円●「一万匹の蟻運動」基金報告
加入者 589名
(2月17日現在)●福音センターマーク
7月2日~4日 祈りのコースII
(唐崎祈りの家)~8月27日~29日
基礎コース(津研宗館)~11月20日
基礎コース(宇治カルメル)~23日
名古屋研修センターの予定~10月
8日~11日 特別聖体奉仕者養成コース●福音センターマーク
7月2日~4日 祈りのコースII
(唐崎祈りの家)~8月27日~29日
基礎コース(津研宗館)~11月20日
基礎コース(宇治カルメル)~23日
名古屋研修センターの予定~10月
8日~11日 特別聖体奉仕者養成コース●福音センターマーク
1月29日 Srモニカ桂川(ノート
ルダム教育修道女会)御父上●福音センターマーク
1月29日 Srメリーロバート・ブーザー
(67歳) 1月28日 聖ヨゼフ整肢
園及び、その前身の教区立診療
所、教会の奉仕とガールスカウ
トの指導に貢献されました。
・ヨゼフ桂川卯一郎さん(90歳)
・ヨゼフ桂川卯一郎さん(90歳)●福音センターマーク
1月29日 Srモニカ桂川(ノート
ルダム教育修道女会)御父上●福音センターマーク
1月29日 Srモニカ桂川(ノート
ルダム教育修道女会)御父上●京都教区侍者默想会
主催 京都教区召命促進委員会
日時 4月24日(土)16時から
4月25日(日)17時半まで。●司祭叙階式参加
場所 衣笠教会●登美ヶ丘教会25周年
会●南山城近隣小教区合同運動
会●福音センターマーク
29日(木)南山城近隣小教区合同運動
会●福音センターマーク
登美ヶ丘教会25周年
会